【黒板文字を使う】

黒板太字はベクトルを太字で書くときに使う。板書のときに使う簡略形を LaTeX 文書に使いたい。板書のときの簡略形は統一ルールがないように見える。ここで紹介するのは，一例とする。(これは，LuaLaTeX でコンパイルしている。)

提案：大文字，小文字は，bbold フォントを使う（\bbolda, \bboldb, \bboldc, ...)。数字は，stix フォントを使う。

\bbold の確認（\bbold{a}, \bbold{b}, \bbold{c}, ...）

大文字：𝔸𝔹ℂ𝔻𝔼𝔽𝔾ℍ𝕀𝕁𝕂𝕃𝕄ℕ𝕆ℙℚℝ𝕊𝕋𝕌𝕍𝕎𝕏𝕐ℤ

小文字：𝕒𝕓𝕔𝕕𝕖𝕗𝕘𝕙𝕚𝕛𝕜𝕝𝕞𝕟𝕠𝕡𝕢𝕣𝕤𝕥𝕦𝕧𝕨𝕩𝕪𝕫　　数字：𝟘𝟙𝟚𝟛𝟜𝟝𝟞𝟟𝟠𝟡

気になる 𝕒, 𝕕, 𝕗, 𝕢, 𝕤, 𝕥 を修正しつつ，他の文字は，そのまま使う。

※ コマンド名は，\bbolda, \bboldb, \bboldc, ...

𝕒𝕓𝕔𝕕𝕖𝕗𝕘𝕙𝕚𝕛𝕜𝕝𝕞𝕟𝕠𝕡𝕢𝕣𝕤𝕥𝕦𝕧𝕨𝕩𝕪𝕫

ams の黒板文字の確認（\mathbb）

\mathbb

大文字：𝔸𝔹ℂ𝔻𝔼𝔽𝔾ℍ𝕀𝕁𝕂𝕃𝕄ℕ𝕆ℙℚℝ𝕊𝕋𝕌𝕍𝕎𝕏𝕐ℤ

小文字：∋ℶð≃⊐⊐⅂≺≻∝⋊⫼≀∼≈≅≋≋↶↷ϝ

数字：⊬⊮⊭⊯⊉⊈⊅⊄↚↛

※ オリジナルの mathbb は，小文字と数字に記号が割り当てられている。

\stixbb による，stix フォントの数字の確認

𝟘𝟙𝟚𝟛𝟜𝟝𝟞𝟟𝟠𝟡

【設定内容】

(1) 3 つのパッケージ（bbold,amssymb,amsfonts）に共通の\mathbb コマンドがあり，コマンドが被るので，bbold パッケージを使わず，bbold のフォントを別名のコマンドで使う。これにより ams の黒板文字フォントを同じ文書に使える。

(2) プリアンブルや，字形の修正内容は tex ソースで確認できる。